

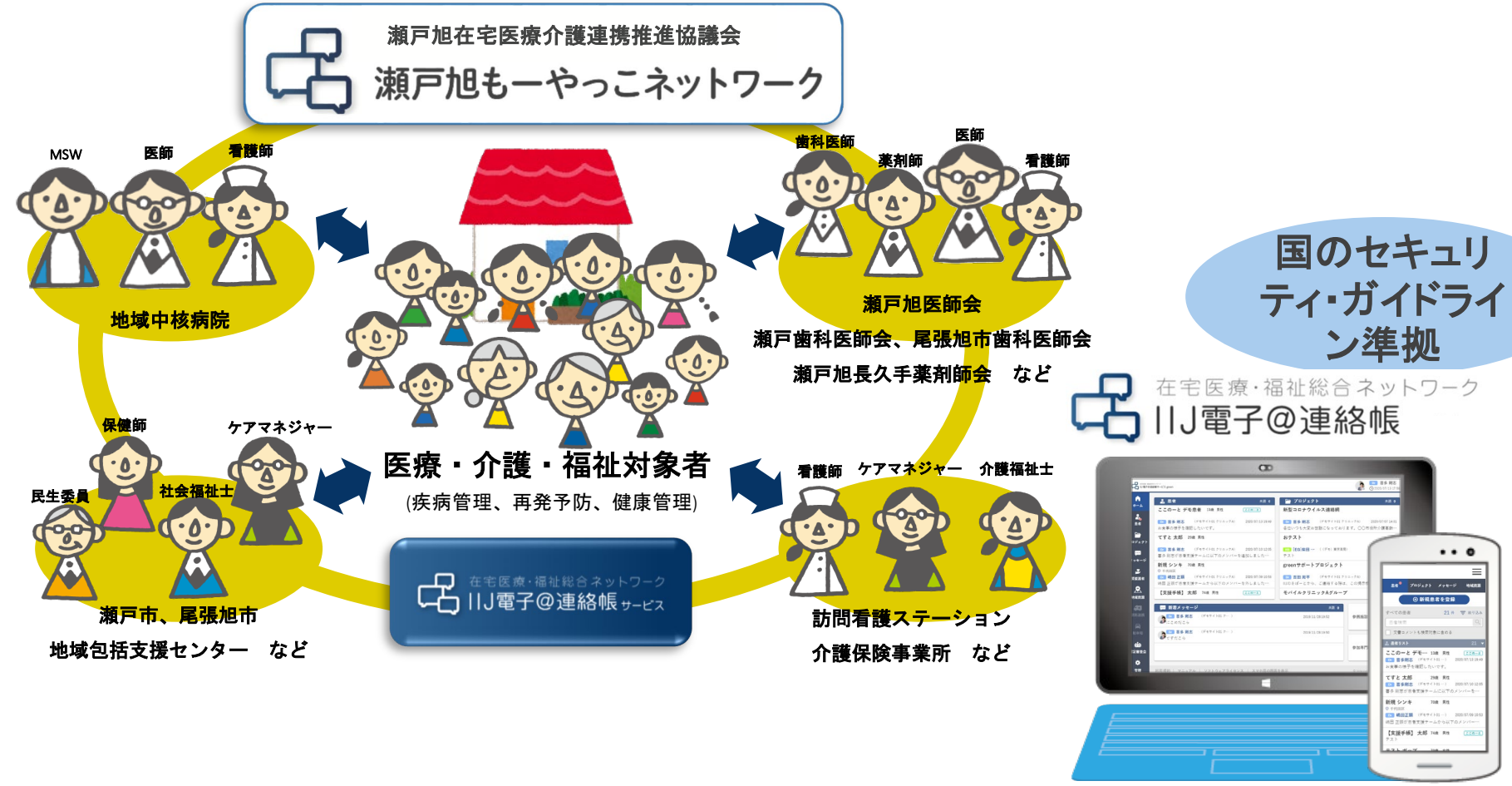
瀬戸旭医師会
「瀬戸旭もーやっこネットワーク」
在宅医療介護連携事業

一般社団法人 瀬戸旭医師会
会長 鳥井 彰人

一般社団法人 瀬戸旭医師会 理事
瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会 実行委員長
垣花 将史

瀬戸旭医師会「瀬戸旭もーやっこネットワーク」運営

- ・瀬戸市・尾張旭市からの委託を受け「在宅医療介護連携推進協議会」を立ち上げ。
- ・平成25年4月からICTを活用した多職種連携として「瀬戸旭もーやっこネットワーク」電子@連絡帳を運営





「瀬戸旭もーやっこネットワーク」の利用状況 (2020年7月末)



瀬戸旭医師会	瀬戸市	尾張旭市
患者登録数	1,184名	334名

瀬戸旭医師会	瀬戸市	尾張旭市
医師	53名	28名
薬剤師	32名	18名
歯科医師	12名	9名
看護師	78名	25名
ケアマネジャー	85名	54名

専門職登録数
 愛知県
 No.1

ICT導入で医師の軽減負担

- ・ 多職種からの報告は宝
- ・ 服薬情報などは在宅医療で重要
- ・ 医師はポイントを書き込めば良い

ケアマネを楽にする

訪問看護の負担を減らす

在宅医療の質を高める



- ホーム
- 瀬戸市の方
- 尾張旭市の方
- もーやっこネットワークとは
- 協議会概要
- 構成団体

瀬戸市の方

瀬戸市の現状

瀬戸市は、昭和4年10月1日、愛知県で5番目の市として誕生しました。濃尾平野の東、尾張丘陵の一角にあって、名古屋市の北東約20kmに位置し、面積111.40km²、人口130,883人（平成27年10月1日現在）です。
やきものの原料となる良質の陶土が産出され、窯業が発展し、「せともの」はやきものの代名詞として世界に知られています。

現在、瀬戸市の高齢化率は27.7%（平成27年10月1日現在）であり、国・県の平均を上回っています。高齢者単身世帯も増大しており、高齢者の医療・介護・福祉対策が大きな課題となっています。

本市では、このような現状を踏まえ、第5次瀬戸市総合計画のもと「市民一人ひとりが地域においていきいきと自立したその人らしい生活をおくる」ことができるまちを目指して取り組みを進めています。

ネットワークに
新規参加する手順
はじめて参加される施設はこちらをご覧ください

電子@連絡帳
瀬戸市



利用開始

利用には事前の利用者登録と利用証明書のインストールが必要です。施設登録から始めてください。既に施設を登録済みの場合、施設管理者に利用者アカウントをご確認ください。既に登録されている方は、証明書の取得をしてください。

証明書インストール手順

初回の証明書設定

施設管理者メニュー

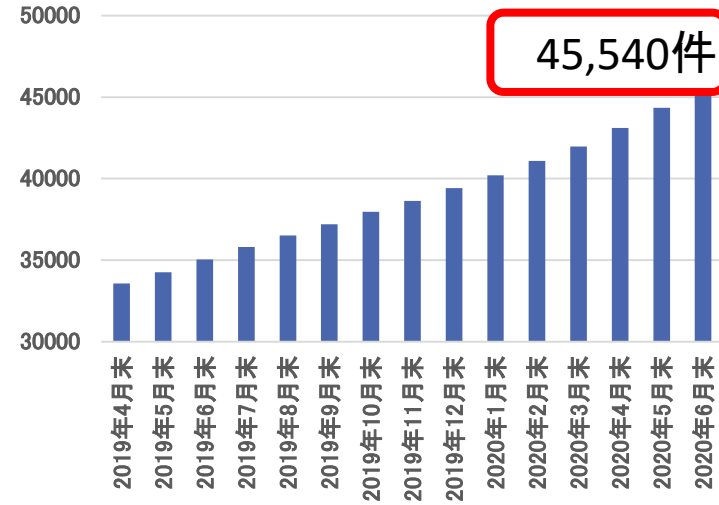
- ▶ 施設登録申請
- ▶ 利用者管理
- ▶ 証明書管理
- ▶ 利用廃止申請

- ▶ 利用規約
- ▶ 説明書・同意書（ひな形）

「瀬戸旭もーやっこネットワーク」の利用は順調に増加

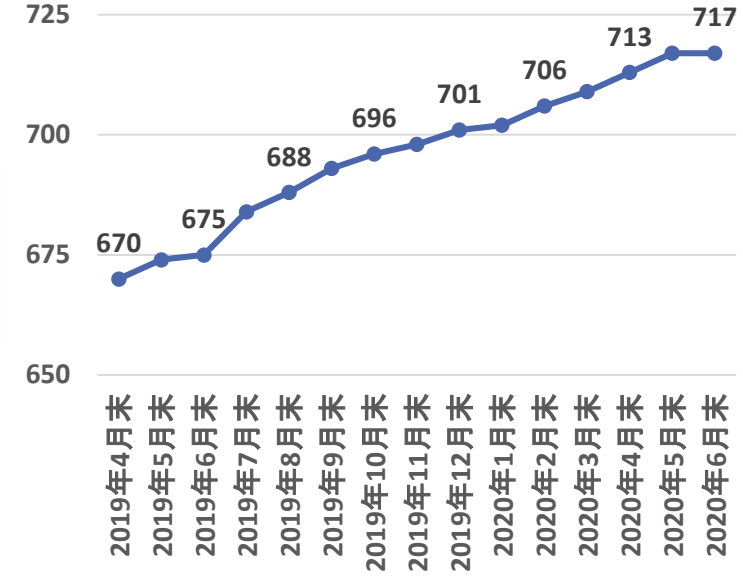
登録記事数

投稿記事数累計



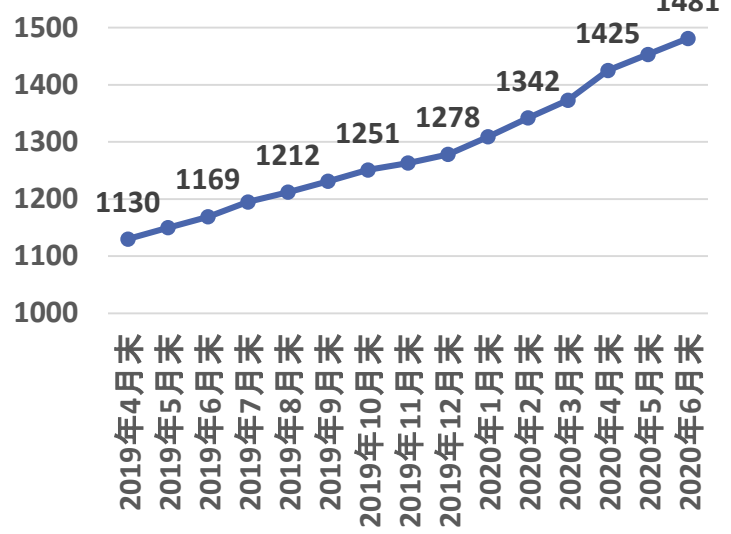
専門職数
(利用者数)

専門職数(利用者数)



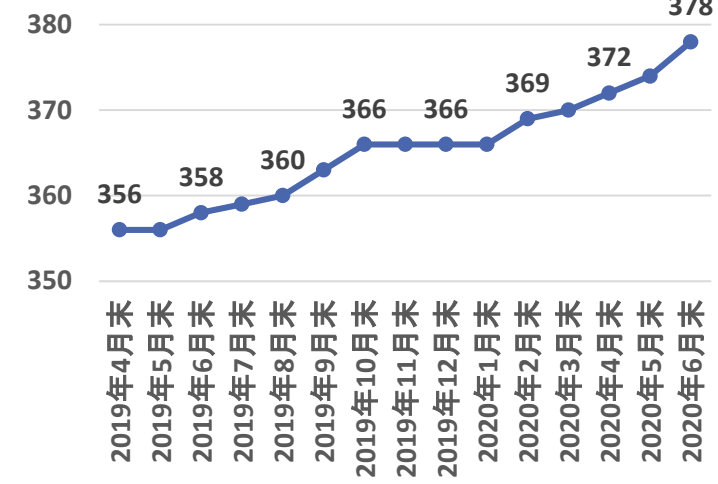
患者数推移

登録患者数

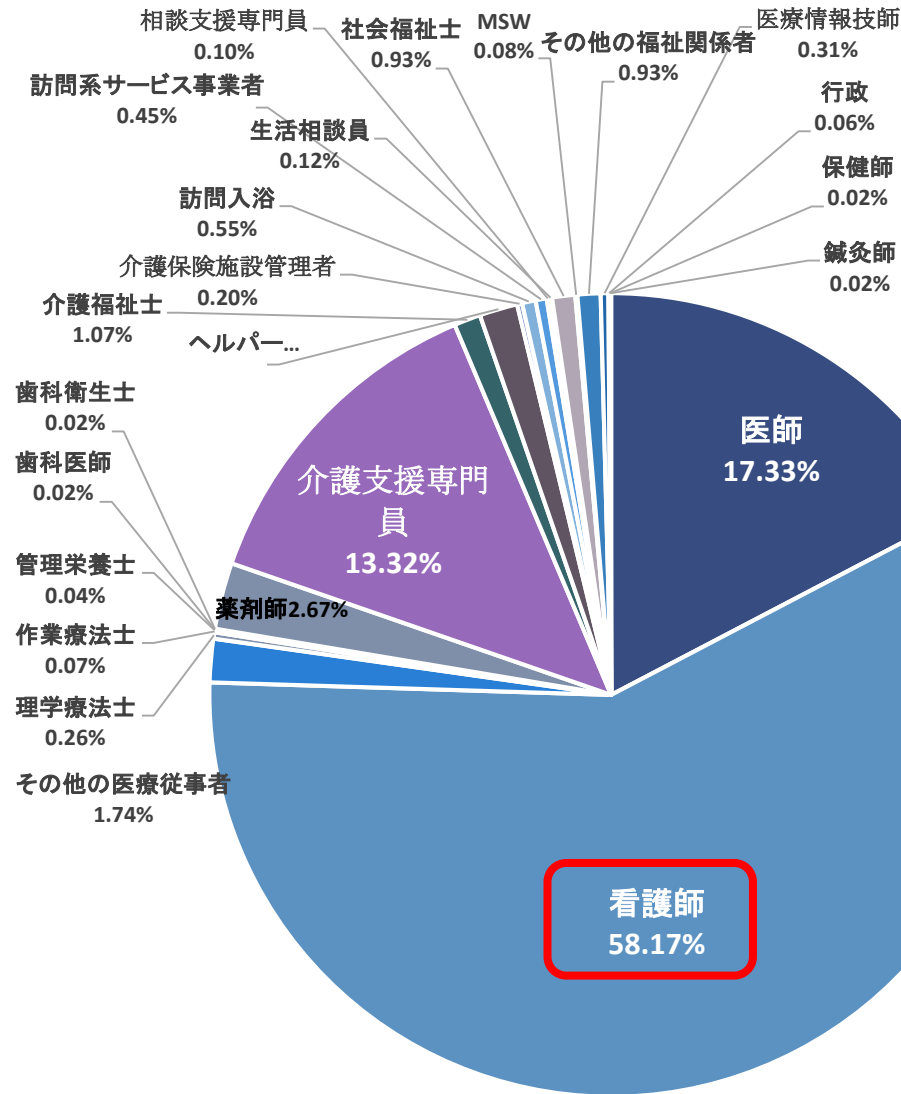


利用施設数
推移

登録施設数



職種別投稿記事数



瀬戸旭
もーやっこネット
ワークへの投稿数
看護師・医師・ケア
マネで全体の89%
を占める

訪問看護師	9788
医師	2916
介護支援専門員	2242
薬剤師	450
その他の医療従事者	293
ヘルパー	258
介護福祉士	180
社会福祉士	156
その他の福祉関係者	156
訪問入浴	92
訪問系サービス事業者	75
医療情報技師	52
理学療法士	43
介護保険施設管理者	34
生活相談員	20
相談支援専門員	16
MSW	14
作業療法士	11
行政	10
管理栄養士	6
歯科医師	4
保健師	4
鍼灸師	4
歯科衛生士	3



【患者連携】医師⇔訪問看護師

医療・介護連携 多職種での患者訪問結果の情報共有 (訪問診療の結果、バイタル情報、患部の写真、運動機能の動画)

北テスト (デモサイト01 クリニックA) 2020/07/17 21:53

7月17日訪問時間

本日、「新規」さんはデイに来ていますが下肢に浮腫があります。体重は本日27.7kg。6/2 26kg、5/1 25kgでした。呼吸困難感はありません。尿量は少ないですが尿意の訴えはあります。写真添付致します。よろしくお願いいたします。

詳細表示

水虫.jpg

水虫2.jpg

定期訪問 デイ

1 喜多 剛志 (Dr.) さんがボタンを押しました

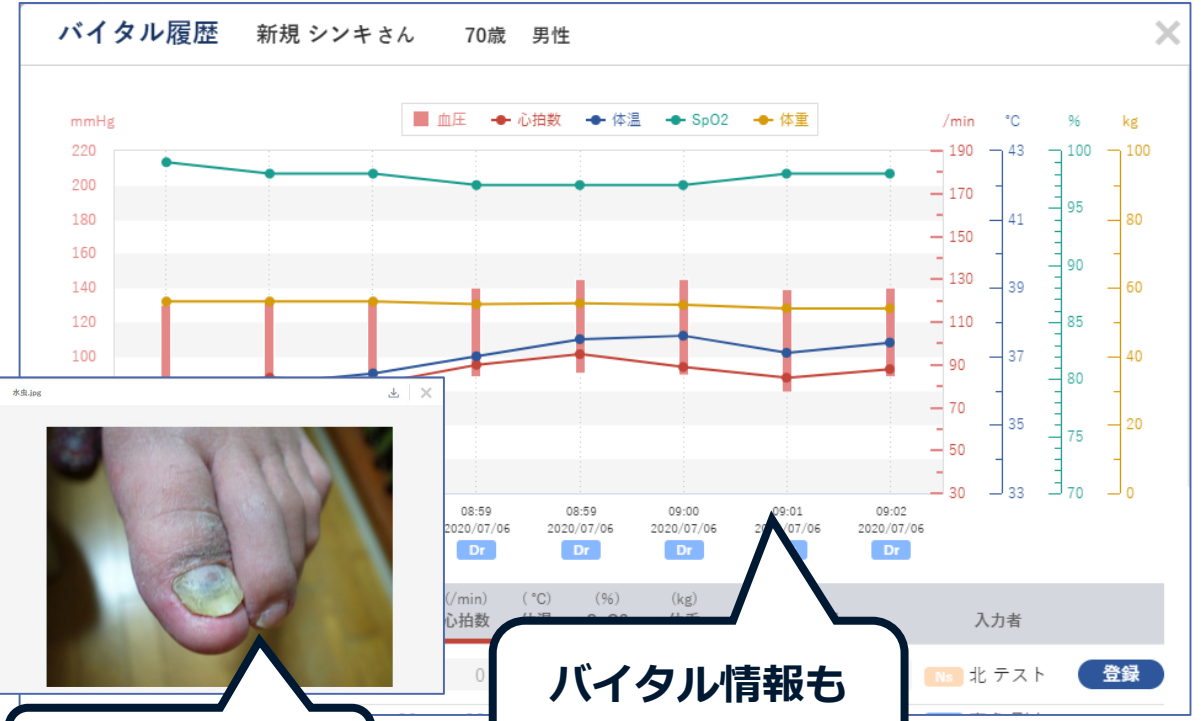
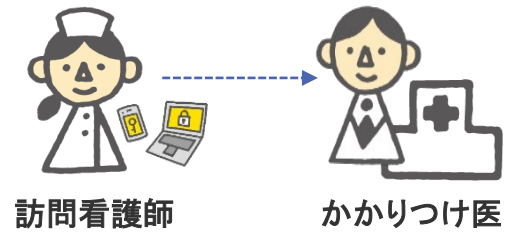
返信を折りたたむ

Dr. 喜多 剛志 (デモサイト01 クリニックA) 2020/07/17 21:58

体重が増えているようですが、右足の発赤も落ち着いてきており、多少むくみはありますが、このままで経過観察をお願い致します。分かりやすい写真ありがとうございました。後日心不全のマーカ―をチェックして利尿剤の量を決めたいと思います。

詳細表示

返信



写真で伝える。

バイタル情報も
グラフで表示

【愛知県】在宅医療介護連携システム「電子@連絡帳」に関する広域連携協定書 (2020/04/01)

在宅医療介護連携システム「電子@連絡帳」に関する広域連携協定書

春日井市と、小牧市と、岩倉市と、津島市と、愛西市と、弥富市と、あま市と、大治町と、蟹江町と、飛島村と、刈谷市と、知立市と、高浜市と、碧南市と、尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会と、瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会と、豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉総合ネットワーク協議会と、岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会と、東三河電子連絡帳協議会（以下、「協定参加機関」という。）は、次のとおり在宅医療介護連携システム電子@連絡帳に関する協定を締結する。

（電子@連絡帳の広域的利用）

第1条 協定参加機関のいずれかにより利用承認を受けた者は、現在自らが利用する電子@連絡帳以外に、協定参加機関が管理する電子@連絡帳を利用する「利用者」と電子@連絡帳に登録がある「患者」の情報を共有化することができる。ただし、利用する地域の電子@連絡帳の利用規約を遵守しなければならない。

この協定の締結を証するため、本書を協定参加機関の数、19通作成し、当事者押印の上、各自1通を保管する。

令和2年4月1日

春日井市 春日井市長 伊藤太	小牧市 小牧市長 山下史守朗	岩倉市 岩倉市長 久保田桂朗
津島市 津島市長 日比一昭	愛西市 愛西市長 日永貴章	弥富市 弥富市長 安藤正明
あま市 あま市長 村上浩司	大治町 大治町長 村上昌生	蟹江町 蟹江町長 横江淳一
飛島村 飛島村長 久野時男		

写

刈谷市 刈谷市長 稲垣武	知立市 知立市長 林郁夫	高浜市 高浜市長 吉岡初浩
碧南市 碧南市長 福宜田政信		
	尾張中部地域 (清須市、北名古屋、豊山町) 代表 尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会 会長 加藤裕	
	尾張東部医療圏 (瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町) 代表 瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会 会長 黒江幸四郎	
	西三河北部医療圏 (豊田市、みよし市) 代表 豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉総合ネットワーク協議会 会長 神谷謙	
	西三河南部東医療圏 (岡崎市、幸田町) 代表 岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会 会長 小原淳	
	東三河北部医療圏・南部医療圏 (豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村) 代表 東三河電子連絡帳協議会 会長 安井洋	



新型コロナウイルス感染症対策に関する情報連携(愛知県内)

ホーム
患者
プロジェクト
メッセージ
要援護者
地域資源
消防連携

瀬戸市

公立陶生病院からのお知らせ

公立陶生病院から地域の医療介護従事者の方へのお知らせを掲載します。

検索 印刷 その他

ファイル 画像 担当者 予定表

代表者: 渡辺康浩

すべてのファイル 16 絞り込み

新しい投稿を入力

新コロNow_The_2nd_wave.pdf 2020/07/27 10:28 Hit

第10回HST研修会開催要項.pdf 2020/07/17 15:06 Otr

PMDA経腸栄養.pdf 2020/07/15 15:45 Hit

20200701経腸栄養分野誤接続… 2020/07/15 15:45 Hit

今週のコロナ0709.pdf 2020/07/10 11:02 Hit

20200624その時陶生は0624.pdf 2020/07/01 10:00 Hit

今週のコロナ0622.pdf

(公立陶生病院) 2020/07/27 10:28

新型コロナウイルスのNow!!-第2波- 7月26日号

電子@連絡帳を利用の医療・介護・行政のみなさま

いつもお世話になります。 当院の感染症内科の武藤医師作「新型コロナウイルスのNow!!-第2波-」をお届けします。非常に情報が錯綜する中で、専門家が多くの方に対して、よりわかりやすくまとめ

詳細表示

新コロNow_The_2nd_wave.pdf

16 (Dr.) さんがボタンを押しました

これから取り組むべきこと

1

多職種連携

～ICT活用「もーやっこネットワーク」の地域への定着～

2

「新しい生活様式」における市民へのアウトリーチ

～「もーやっこサポート」を利用した各家庭の生活情報～

3

災害（要支援者）・救急連携（ACP）としてICT利用促進

～広域行政連携・行政・消防・警察とも共有～